

業連だより

10月4日、業務連絡会議を開催した。

富澤理事長が、「政治の時期になりました。私にもマスコミからインタビューの電話がきました。私は借行社が政治に関与するのは問題があると思いますが、軍事に関しては求められたら、専門家として意見を述べるべきだと思います。ただ軍事と言え、それぞれ意見が異なるのは当然であり、個人の意見として冷静に対応していきましょう」と挨拶された。

次に「靖國神社御創立百五十年記念事業への寄付」について協議した。若木事務局長が、聴取した旧軍会員の意見を紹介した後、議論を行った結果、借行社として50万円の寄付をすることに決定した。

報告事項に移り、白石副理事長から「借行社将来検討委員会の検討」について、「検討案を来月の業務連絡会議で報告する」と紹介された。

慰霊・援護委員長から「平成29年度ケ谷台慰霊祭」について、天候にも恵まれ、滞りなく実施できたと成果報告があった。反省事項として、遺族の接遇について検討すべきであると付言された。

事務局長から「平成29年度全国会長会同」（10月12日）及び「平成29

年度借行社総会」（10月13日）の実施要領について概要説明があった。

総会における記念講演は、防衛大 学校長國分良成氏で、演題は「中国をめぐる内外情勢・現状と行方」である。

また、総会において感謝状が、3名の方（岩手借行会・井上弘氏、福岡県借行会・菅原道之氏、熊本借行会・内野正明氏）に志摩会長から贈呈される予定である。

厚生委員長から「平成29年度文化祭」（11月2日～4日）の開催要領について報告があった。展示・発表内容は、展示…（絵画、書画、写真、手工芸等）、発表…（詩吟、謡曲、尺八、二胡、三味線、ギター、歌唱等）である。

総務部長から「第5回相武台陸軍士官学校会」（11月13日）に関し、座間駐屯地訪問の概要が紹介された。主要行事は、CRF司令官表敬、広報展示室見学、旧軍史跡見学の予定。

中川安保委事務局長から4団体合同の「平成29年度政策提言」について、9月14日に合意案がまとまったことが報告された。特徴は、安倍首相の改憲イニシアティブもあり、改憲議論が盛り上がったが、精強流動化の中、10年間一貫して主張している「自衛隊の国軍化」を強調したも